

市民農業講座「さっぽろ農学校」専修コース



講座紹介

札幌市経済観光局農政部農業支援センター



講座の概要



- ・農業ボランティアを行いたい！
- ・“農”が好きな仲間を作りたい！
- ・野菜を上手に作りたい！

このような方々向けに
農業講座を実施しています！

講座情報

- 募集対象：農業に関心を持つ15歳以上で、講座期間を通じて、受講が可能な方。
- 講座期間：令和5年4月8日（土）～10月28日（土）までの毎週土曜日
（水曜日が12回（任意）、9月2週目木曜日と金曜日で各1日実施します）
- 講座内容：実習29回、講義18回、管理12回
- 受講料：48,000円（受講料振込は4月以降）



実施会場

■ (実地演習)

札幌市農業支援センター圃場
(札幌市東区丘珠569-10)

(座学講義)

サッポロさとらんどセンター
(札幌市東区丘珠町584番地2)

- ※伏古拓北通りという中央に大きな分離帯のある通りに面します。
- ※「さとらんど」と「札幌市農業支援センター」は入り口が別なのでご注意願います。



講師について

■主任講師（1名）

北海道のOB職員などが務めます。
園芸作物全般の栽培指導を行っていきます。

■補助講師（2名）

さっぽろ農学校修了生OBが
主任講師をサポートしていきます。
実際の作物栽培の指導も行います。

■実習ボランティア（3名）

受講生の実習をサポートします。実習ボランティアは、
農学校修了生ですので、気軽に相談が出来ます。

**講師陣・ボランティア等の
サポートのもと安心して
受講できます！**

実習について

実習29回

(土曜日、木曜日 (9月第2週1日)、金曜日(9月第2週1日))

実習では、実際に圃場に出て一連の作業を行います。

施肥

耕起

播種

管理

収穫

販売



実習について

当実習では2つの種類の圃場（畑）を使用していきます。

共同管理圃場

受講生のみなさんで管理する畑（圃場・ほじょう）です。
主任講師のレクチャーのあと、皆さんで実践していただき、
栽培技術の基礎を学びます。
9月の販売実習に向けて栽培管理していきます。



自主管理圃場

個人専用の畑（約36㎡）が割当てられます。
講義内容を参考に、肥料計算や作付図を作成し、
各自、課題を設定して管理します。11月に成果発表
表として、分かったこと、失敗したことなどを発表
します。
また、平日（開庁日）にお越しいただき、畑の管
理をすることも可能です。



実習について

管理12回

(6月～9月の毎週水曜日午前に実施)

毎週土曜日の栽培実習のみでは、管理が行き届かず、維持管理がうまくできません。夏期は、共同管理圃場の収穫や、枝の除去などの管理作業を毎週水曜日に行います。基本的には、農業支援センター職員が指導いたします。水曜日は任意参加です。

管理内容

- ・ 収穫
- ・ 枯葉や枝の除去、つるの誘導
- ・ トマトの脇芽取り、キュウリの摘葉
- ・ 水やりなど



栽培品目について

■ 共同管理

【ハウス】

トマト（ミニ・中玉・大玉）、キュウリ、ナス、カラーピーマン、オクラ、ホウレンソウ、コマツナ、ミズナ、スイスチャード、エンサイ

【露地】

イチゴ、カボチャ、ズッキーニ、スイートコーン、エダマメ、ピーマン、ラッカセイ、ニンジン、ジャガイモ、サツマイモ、キャベツ、レタス、タマネギ、カリフラワー、ブロッコリー、ダイコン、ナンバン、カブetc.

■ 自主管理

左記の共同管理の品目
（イチゴ、キュウリを除く）のほか

エゴマ、ゴボウ、セロリ、ラデッシュ、カブ、チンゲンサイ、シソ、バジル、パセリ、長ネギ など

その他、育ててみたい種子の持ち込みは可能です（植物土壌病害の観点から直播のみ、育苗は出来ません）
苗の持ち込みは出来ませんのでご了承ください。

札幌ならではの
品種も栽培！



サトホロ（イチゴ）



札幌黄（タマネギ）



札幌大長（ナンバン）



サッポロミドリ（エダマメ）

講義について

講義18回

(原則土曜日の午後に実施)

専門の講師を招いて、座学講義も実施します。
(ホクレンや植物防疫協会など)

■ 講義内容

- ・ 土づくりと施肥管理
- ・ 果菜類、葉茎菜類の特性と栽培
- ・ 雑草と対策
- ・ 農業資材の特性と利用
- ・ 病害虫
- ・ 市民の農業参加 など



農学校の1日の紹介

9:00 実習内容の確認

9:10 畑に移動

基本的には、9時から開始します。
この時間までには着替えを済ませ、
集合指定場所の席に着いてください。
職員・講師から、当日の作業内容の確認・説明など行います。
説明が終わりましたら、指定された畑に移動します。



農学校の1日の紹介

9:15～ 実習開始

畑やハウスで、主任講師が見本として、実演など行います。
受講生は、メモを取ったり、写真を撮ったり・・・
講師の実演のあとは、受講生に行っていただきます。
主任講師・補助講師がすぐ近くにいますので、分からないことがあったら、すぐに聞くことができます。



農学校の1日の紹介

11:45 実習のまとめ 質疑応答

適宜、小休憩をはさみながら、進めていきます。
11:45分くらいになりましたら、作業を振り返り、
大事なポイントなどを復習してから昼食を取ります。
もし、予定より早く作11:45 実習のまとめ
質疑応答が終わりましたら、
自主管理ほ場の管理も行えます。



農学校の1日の紹介

13:00 講義開始

午後からの講義は、13:00から開始ですので、その時間までに着席してください。
各専門分野の講師が授業いたします。
講義の後半に質疑応答の時間を設けてます。



農学校の1日の紹介

15:00～16:30 自主管理圃場

講義終了後、希望者は16:30まで自分の畑の管理が出来ます。

実習時間で手入れ作業が終えられなかった場合や平日に来れない方は、この時間を利用して収穫や手入れを行います。

放置すると、虫に食べられたり、野菜が肥大化します。



その他の実施内容

実習では、こんなことも行います。



販売実習

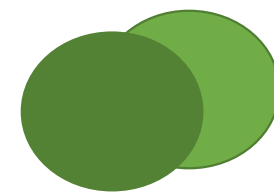
さっぽろ農学校のメインイベントです。袋詰め、価格設定、設営に接客と大忙しです！



成果発表会

講座の最後に自主管理圃場で取り組んできたことを発表し、みんなで情報共有します。

さいごに



さっぽろ農学校の修了について

実習と講義の土曜日7割の出席で、修了認定となります。
(水曜日の“管理”は参加任意なので、認定には影響ありません)

是非、修了認定を目指して頑張ってください！

お問い合わせ先 (令和5年3月まで) 札幌市農業支援センター (tel:011-787-2220)
(令和5年4月以降) サッポロさとらんど (tel:011-787-0223)

